



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

当社所属プロゴルファー・菅沼菜々選手が 100万円を日本パラスポーツ協会へ寄付

2024年12月5日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）所属の菅沼 菜々選手（プロゴルファー）は、公益財団法人日本パラスポーツ協会（以下、日本パラスポーツ協会）に対し、2024年シーズンに獲得した賞金から100万円を寄付しましたので、お知らせします。

1. 背景

広場恐怖症を持ちながらプロゴルファーとして活動する菅沼選手は、パラアスリートに親和性を感じると同時にリスペクトしています。また、パラアスリートにエールを贈り、ともに前を向いて頑張りたいという同選手の意向から、獲得した賞金の一部を日本パラスポーツ協会に寄付する活動を、2022年度より継続しています。

※ 日本パラスポーツ協会と当社は2014年よりパートナー契約を締結しています。

2. 寄付の概要

(1) 寄付先

名称：公益財団法人日本パラスポーツ協会（東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6）

代表者名：会長 森 和之

寄付金額：100万円

(2) 寄贈式

12月4日（水）に当社本社（東京都渋谷区恵比寿 1-28-1）にて寄贈式を執り行いました。

< 寄贈式 >



左から 当社取締役専務執行役員 白井 祐介、代表取締役会長 金杉 恭三、プロゴルファー 菅沼 菜々選手
日本パラスポーツ協会 会長 森 和之、常務理事 藤原 正樹、常務理事 河合 純一

3. 今後の展開

菅沼選手は、自身の応援グッズの収益金と賞金の一部を今後も継続して日本パラスポーツ協会に寄付することで、社会貢献活動を実践するとともに、パラアスリートへの支援を自身の競技活動の励みにしたいと考えています。

当社は、日本パラスポーツ協会と菅沼選手の活動を今後も支援していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

